

R2 館山市小学校・中学校通学路危険箇所に対する要望及び今後の対応一覧

館山市教育委員会教育総務課

No.	学校名	優先順位	危険箇所	説明	要望	道路				対策関係		対応策の現状・予定					対応策		
						警察	市	県	国	合同点検実施日	対策担当機関	すべて完了	一部完了	対策予定	検討中	完了機関		予定・検討中機関	
1	船形小	1	船形小学校周辺(小林病院付近)	通学路として通っている児童が多いが、細い道から車の通る道路へ出るところに注意喚起をするものやミラーがなく、接触事故等の危険がある。	児童向けに注意を喚起する看板(「車に注意」「飛び出し注意」等)を設置するか、運転者に通学路であることを伝える看板(「通学路」「児童に注意」等)を設置してもらいたい。または、カーブミラーの設置をお願いしたい。											社会安全課	カーブミラー又は標識等を令和3年度中に設置予定。【路面標示か標識で対応。】		
2		船形 754-76付近 どんどん川	民家への進入路と川との境目にフェンスや注意喚起の看板がなく子どもが落ちる危険性がある。(右の写真のように角度によっては道が茂っているように見えますので、とても危険。)	看板もしくは、フェンスの設置をお願いしたい。												建設課	現地を確認し、対策を検討。一民地に入ってしまうため柵を設置するスペースがない。注意喚起の看板について再検討学校には、注意喚起を依頼済み。		
3		3	県道館山富浦線 船形小学校前	船形小学校から県道に出る場所の見通しが悪く、危険である。保護者や業者の車両の出入りもあり、児童が近くにいた際に事故に巻き込まれる危険性がある。	歩行者の信号部分にカーブミラーの設置をお願いしたい。												安房土木 建築施設課	安房土木 県への手続きであるため、安房土木と対応を検討。	
4		4	県道185号線沿い 那古船形駅前	「止まれ」の看板が斜めすぎて、いつ倒れるかわからないのでとても危険。	撤去し、新しい看板を設置をお願いしたい。													警察	警察で修繕済み。
5		5	県道127号線沿い 725-4付近 どんどん川	橋の南西の空き地と、どんどん川の境目。フェンスや注意喚起の看板がなく、子どもが落ちる危険性がある。	看板もしくは、フェンスの設置													建設課	現地を確認し、対策を検討。一民地に入ってしまうため柵を設置するスペースがない。注意喚起の看板について再検討学校には、注意喚起を依頼済み。
6	那古小	1	県道296号線 那古小学校に向かう丁字路から入ったところ	県道296号線 那古小学校に向かう丁字路から入ったところの「通学路」の標示が消えかかっている。大きな通りから細い道に入っていくところなので自動車の運転者は見落としやすい。また、この地区は多くの児童が住んでいることもあり注意が必要である。	「通学路」の文字を新しくしていただきたい。												社会安全課	【令和3年度中に路面標示等で対応予定。】	
7		2	国道127号線と県道296号線の合流地点	県道296号線から国道127号線館山バイパス(那古交差点)へ続く道路の舞儀場付近の交差点。登下校時は特に車の通りが多いが、特に上りの自動車スピードを上げて走ることが多い。特に登校時に多くの児童が赤信号の時に待機する場所である。	昨今の交通状況を鑑み、待機している児童が巻き込まれる事故が発生している。ガードレールを北条方面に数メートル延長してほしい。												安房土木	【交差点付近に支柱とガードレールがあるため、学校での指導とする。】	
8	北条小	1	県道257号 房総フラワーライン	大賀のバス停を利用する児童がいるが、バス停の近くに横断歩道がなく、児童にとっては横断しにくい。	横断歩道を設置してほしい。												警察	バス停付近への断歩道設置は不可能。【離れたところに設置できるかは警察で検討の余地はある。】	
9		2	校庭脇の道路の突当りのT字路	T字路になっており、一時停止の表示やカーブミラーがあるものの、木があり視界が大変悪い。また、「止まれ」の文字や停止線が消えている。	視界の確保。直進側にも注意喚起の標識等。												警察	【学校の対応】年度初めに、通学路ごとに児童を集め指導する際に、視界が悪いので注意が必要であることを確認している。【建設課で木の剪定を依頼するなどの依頼はできる。現在はまだ依頼までは至っていないと考える。路面標示の塗り直しを検討。】	
10		3	館山小学校校門の入り口までの直線	もともと道路が狭い上、車登校の児童がいるため、交通量が多く危険である。特に雨の日は傘もさしているため、より狭く接触する危険がある。また、道路脇の家から木が出てきており、実際には歩道の幅がない箇所もある。	緑石ブロックやボールを設置してほしい。													社会安全課	【学校の対応】一列で歩かせる。【緑石やボールの設置は不可能。外側線は社会安全課で検討。】
11		4	県道257 田村病院前	大通りの歩道がとても狭く危険である。	歩道が広くなるとよい。													安房土木	【拡幅工事は不可能。外側線の塗り直しを検討。】
12		5	セントラルスポーツ館山付近の塀	館山小学校前の変形十字路をセントラル方向に向かって歩く道路。海に向かって右側の斜面、石など落ちてくる可能性があり危険である。	災害等が発生したときに石などが落ちてこないようにしてほしい。													安房土木	【学校の対応】上須賀区長に情報提供済み。子どもへの注意喚起。【安房土木と協議し対応を検討。】
13	西岬小	1	加賀名バス停付近から西岬小に向かう市道	昨年度9月の台風の被害で、学校前から通じる道が危険となり、バスが迂回となった。そのため、学校から歩いて15分ほどのバス停から児童たちは乗車する。そのバス停の手前の道である。バス停に行くためには、通らなければならない道だが、草や竹があり見通しが悪い。雨天時は、雨で草や竹がおおいかぶさってくる。より見通しが悪くなる。水路があり、柵がないため、落ちる危険がある。雨天時は、水かさが増し、勢いよく水が流れるため、さらに危険になる。	【柵の設置】子どもが川(水路)に落ちないように、柵のようなものの設置をお願いしたい。											学校	建設課 【学校の対応】【交通指導】毎日、大雨が降っていても、バスの時刻にあわせて、バス停まで送っていつている。【バスが校門前を経由することとなったため対応不要。学校から地区に管理を依頼すること。】		
14	房南学園	1	国道410号、房南学園周辺	学区全体ですが、特に国道410号は交通量が多い。また、本学区は見通しの悪いカーブが多い。歩道の拡張が進められているが、狭い歩道が多く危険を感じる。 旧神戸小近くには、学童注意の表示があるが、学校が移転してから変更されずそのままになっている。そのため、房南学園周辺には、「学童注意」の表示や標識「学校が近くにあります」などの表示がない。通学路にもなっているため、安全に通学するための道と車の運転手に対する注意喚起が必要。また、夏場は歩道を覆うように草や枝が伸びているので、歩道が通りづらい。	①歩道の整備をお願いしたい。 ②車道と歩道の区別ができるようグリーンで識別していただきたい。 ③表示や標識の設置をお願いしたい。 ④歩道・道路脇の草や枝の伐採をお願いしたい。												安房土木	【学校の対応】これまでも交通事故が起きている現状と事故から未然に防ぐための交通安全教室を実施。また、自動車は大きな包丁であると考えさせ、交通事故を未然に防ぐ意識を高めている。路面標識や標識で対応。※「学童注意」など。(R2に路面標示等で対応予定)【R2に白線塗り直しや路面標示等で対応予定。】	
15		2	国道410号沿いセブンイレブン館山藤原店から布沼方面への道	布沼方面からの自転車通学する生徒が全校生徒の20%ほどである。時間帯によっては徒歩通学の児童もいる。道幅が狭く歩道もないため、交通事故の危険性が高い。また、大型のトラックや路線バスが通る区間でもあり、登下校の時間帯はさらに危険性が高くなる。	道幅が狭く、車がすれ違えないほどなので、道幅を拡幅するか、自転車も通れる歩道を設置してほしい。													建設課	建設課 【学校の対応】①交通安全指導の重点箇所として、集会時、学級活動の時間を使って指導している。②朝の交通安全指導、下校時のハトロールで実際の登下校を見ながら指導している。地区からの要望も、道路にはみ出している木を剪定した。今後、具体的な場所があれば、再度要望してもらおう。
16	神余小	3	佐野地区 房南学園の正門前	昨年度に学校前の道路に白線を引いていただきました。しかし、JA神戸への右折車JA神戸方向から登校する児童生徒や車両と交錯し、事故の危険性があったり、JA神戸への右折車が丁字路の手前から右折に入る車が入って危険である、という状況はあまり変わっていない。特に雨天時は車の台数も多く危険である。	・正門前の丁字路に一時停止の標識を設置してもらいたい。 ・丁字路を表す「T」の白線を引いてほしい。 ・登下校時間帯(平日7:00~8:00、平日15:00~17:00)または登校時間帯だけ、一方通行(JA神戸前を学校方向へ)や右折禁止(JA神戸前からの右折禁止)、学校前の信号からJA神戸方向の右折禁止等の対応ができないか。													社会安全課	【学校の対応】毎朝、職員が道路に出て安全指導を行っている。また、中道を登校してくる児童生徒へは、正門前で一時停止をさせ、安全確認をさせている。外側線等で対応。校門前に区間線を施行済み(3.17)【一方通行や右折禁止等の対応は不可能。】
17		1	豊房小学校正門前	校門前が急な左カーブになっており、見通しが悪く危険である。カーブミラーが設置してあるものの、横断歩道からミラーを見ると左側が全く見え、左から来る車を確認することが難しい。	【子ども用カーブミラーの設置】児童が安全を確認しやすいように、子ども用のカーブミラーの設置をお願いしたい。													社会安全課	【学校の対応】集団下校の際、職員が同行し安全確認を行っている。カーブミラーを1面設置。(R2)
18	館野小	1	山本1023番地の西側と小学校までの市道	車道幅・歩道部分ともに大変狭く、児童が通学の際は、車が1台通る際にも、車との接触の危険も考えられ、大変危険です。(車が2台すれ違うときはもっと危険です。)雨天時は、交通量も増え、児童は傘等で視界も悪くなるためさらに危険度が増します。	・側溝に蓋の設置をお願いしたい。 ・歩道部分の拡幅工事ををお願いしたい。													社会安全課	建設課 【国に要望し、再来年度、事業化を検討中。【建設課】】
19	九重小	1	県道128より稲交差点を千倉方面に、九重駅〜旧新鮮組周辺	交通量が多く、スピードを出している車も多い。通学路であるが、歩道幅が狭く、子どもたちがバランスを崩すと道路から出てしまったり、子ども達の持っている荷物が車道の方に出てしまったりすることも予想され、事故につながるかわない。道路はしの白線が消えかかっているところがある。	・ドライバーに注意を喚起し、子ども達の身を守るボールか、ガードレールの設置をお願いしたい。 ・薄くなっている所もあるので、白線を引いてほしい。												安房土木	【学校の対応】学期始めの一週間や月1回、職員や交通安全協会の方、保護者が、登校時に立ち、安全指導を行っている。【白線の引き直しをR2に対応予定。】	

	第一中																	
20	第二中	1	館山二中前道路	来年度統合が控えており、全校で約800人程度の生徒数になる見込みである。一方、生徒の登下校時における車の数も多く、道幅も狭くなっている。道幅が狭いが、通学する生徒が倍以上になるため、自転車と自動車、自転車と歩行者、歩行者と自動車の接触事故の可能性が高くなる。	時間指定のスクールゾーンの指定、もしくは交通指導員の配置をお願いしたい。	○	○										社会安全課 警察	【学校の対応】登下校時、職員が交通指導を行っている(市の駐車場、校門付近、要橋付近)。【統合中の整備を含め、安全対策を実施予定。】
21		1	市道1272号線に出る保健所脇の幅員の狭い所	幅員が狭く自動車は相互通行をしている。バイパスへの抜け道として交通量は多い。朝帰りの時間帯は3中生は、自転車通学者、徒歩通学者の通行も多い。また、北条小じどうの送り迎えの自動車や北条小駐車場利用者の自家用車の通行もひっきりなしである。	【幅員を広げることと歩道スペース】 できることかどうかはわかりませんが、駐車場や保健所前のスペースを何とかして2車線の幅員と、片側で良いので歩道を作れないものか。		○										建設課	【学校の対応】【交通当番の配置】 月始めの一週間、職員が登校時に立ち、安全指導を行っている。交通安全指導者より毎回危険であるとの報告を受けている。また生徒のアンケートでも通学路の危険箇所として報告されている。【道路の拡幅は難しい。将来的に合同庁舎の再建設の際に改善を検討。】
22	第三中	2	南町えびす神社から市道1272号線に出るヤマノウチの角	次年度館山中への統合において館野地区の生徒が自転車通学する場合南総文化ホール裏を回り館山大橋の下を通過して通学する際、この箇所を通過することが多くの自転車が通行することが考えられるが、幅員も狭く対面通行の自動車 came 場合やり過ごすのも危険である。また一時停止の標識もなく、出会い頭や大通りへのとびだしも危険である。	【標識、看板】生徒に対してもまた通行する自動車に対しても、危険箇所である旨を啓発するものが必要ではないかと思われる。	○	○										社会安全課 警察	【警察で路面標識を検討。学校での指導を依頼。危険な場所であるため通らない指導も必要。】 「とびだし注意」の路面標識で対応済み。
23		3	スクールバスバス停付近	先日バス停で降りた生徒が、道路を渡るうとして、止まっているバスを追い越そうとした後続車が生徒に接触しかけた・・・ということがあった。バス停は日東の路線バスのバス停を利用している。	バス停付近に「スクールバス乗降場=生徒に気を付けて=」のような看板でも設置してはどうか。(勿論、生徒指導は十分行わすべきであるが)												安房土木	できることを検討。指導の徹底を図る。(県で看板を設置する等、対応は困難) 【学校の対応】安全指導で、通学方法別集会で指導しています。また、短学活を利用して注意喚起を行っている。次年度はバス通学者がどのようなことになるのかわからないが安全対策は講じていきたい。 【R1から継続】【学校に指導を依頼。】